

年	組	名前
---	---	----

白杵 高齢者有志が手作り支援



竹製の水鉄砲を手作りする白杵市内の有志

水鉄砲千個気仙沼へ

東日本大震災の被災地の子どもに遊んでもらおうと、白杵市の有志が竹製の水鉄砲千個を手作りした。25日、宮城県気仙沼市に発送する。

経験生かし

「心意気送る」

有志は企業を退職したから注目を集めた。高齢者ら十数人。自分が過去に水鉄砲作りをちが昔遊んだ経験を生かして、今年春から白杵市や大分市の保育園、幼稚園、放課後児童クラブで子どもたちに水鉄砲作りを教えている。教え終えた後の反省会の席上で被災地への寄贈のアイデアが出て、今回の取り組みが始まった。

材料となる竹は、白杵市内の竹林所有者が寄贈。50〜60センチほどに切った竹筒と細長い竹の棒、バタオルの切れ端や糸、パ

気仙沼市は白杵市とサシマ、カボスの販促を通じた交流がある。呼び掛け人の木部健三さん(67)は「心意気を送りたい」と思って企画した。お風呂の中とかで遊んでもらえればうれしい」と話している。

ツキンを使い、吸い込んだ水が数分先まで飛ぶよう、工夫を凝らして作っている。

有志が集まって14〜16日の3日間、同市の仲よし子ども公園で製作。公園に遊びに来た親子連れ

東日本大震災の被災地の子どもに遊んでもらおうと、白杵市の有志が竹製の水鉄砲千個を手作りしました。

(2013年9月24日朝刊16面)

①水鉄砲を知っていますか？
どんなものか、調べてみよう。

.....

.....

.....

②水鉄砲から勢いよく水が出ていくのは、どういう仕組みだろう。また、より遠くに飛ばすためには、どういった工夫が考えられるだろう。

.....

.....

.....

③被災地の子どもに、ほかにどんなものを贈れば喜ばれるか、自分ならどんなものがうれしいか、考えてみよう。

.....

.....

.....